

2011年3月11日、金曜日

東北大震災が起こった日、テレビを通じて報道された様々な映像は、日本のみならず、世界の人々を戦慄させました。死者、行方不明者、18,500名、中でも犠牲者が一番多かったのは宮城県。次いで、岩手、福島。

ご縁があって、震災からちょうど1年後に、宮城県名取市の被災地区、閑上（ゆりあげ）を訪れました。いろんな処から送られてきた絵や文字の作品を4枚合わせ、絵灯籠を作る作業は既に終わっており、被災した閑上中学校の裏庭に、東京から夜行バスでやってきた大学生が設置している様子を見学しました。



暗くなると絵灯籠に蝋燭がともされ、被災者慰霊が行なわれました。この行事は、毎年3月11日に行なわれおり、来年3月で5年目を迎えます。

悲しい・辛い・残酷なニュースは、毎日のように報道され、東北震災被災者の方々のことは記憶から遠のきつつあります。それでも、ちょっとした時間を作って、思いを込めた1枚の絵、文字を現地へ送りませんか。又、この情報を、より多くのお友達、知人にお伝え下さることを心よりお願い致します。



詳細は、現地から送られてきた要綱をご覧ください。
仏訳も添付します。

プロヴァンス日本人会
会長 益井千明

e-mail : Nanfutsudayori <nanfutsu@hotmail.com>
携帯 : 06 03 43 45 03